

Memory Media Utility Software Ver. 5.2.0 の Mac 版をリリースします。

本ドキュメントでは Memory Media Utility のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。

SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer および PSZ-SC48/96 などの Portable Storage 本体同梱の取扱説明書と合わせてご覧ください。

【V5.2.0 で対応した内容】

- マルチフォーマット画面のメディア状態表示やバックアップ失敗時の状態表示の不具合を改善しました。
- macOS 15.2 Sequoia に対応しました。

【動作環境】

この Memory Media Utility Ver. 5.2.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

macOS Ventura 13.7.2 ※
macOS Sonoma 14.7.2 ※
macOS Sequoia 15.2 ※

※ Intel Mac 製品および、Apple シリコン搭載 Mac 製品に対応しています。

(Apple Silicon 搭載 Mac の場合は、「セキュリティポリシーの設定」を行なう必要がある場合があります。

詳細は、後述する「インストール方法」を参照下さい。)

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意： 上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【Memory Media Utility のインストール方法】

MemoryMediaUtility_5_2_0_mac.zip を解凍します。

MemoryMediaUtility_5_2_0_mac.dmg をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

Mac 版は、これまでに登録したメディア管理情報（データベース）を引き継ぐため、バージョン 5.2.0 のインストーラーで、上書きインストールしてください。

また、インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

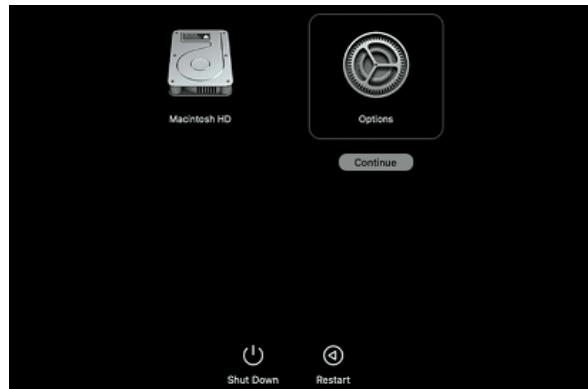
ご注意：バージョン 4.6.0 以前のアンインストーラーで削除すると、メディア管理情報は削除されますので、ご注意下さい。なお、バージョン 4.7.0 以降のアンインストーラーは、引き継げるよう登録情報を残すようにしています。

- ・セキュリティポリシーの設定

Apple Silicon 搭載 Mac にインストールする際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。

Appleシリコンを搭載した Mac に「Memory Media Utility」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。

1. Appleシリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切れます。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧] アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクが FileVault で暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

・macOS 13.7 や 14.7 あるいは 15.2 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

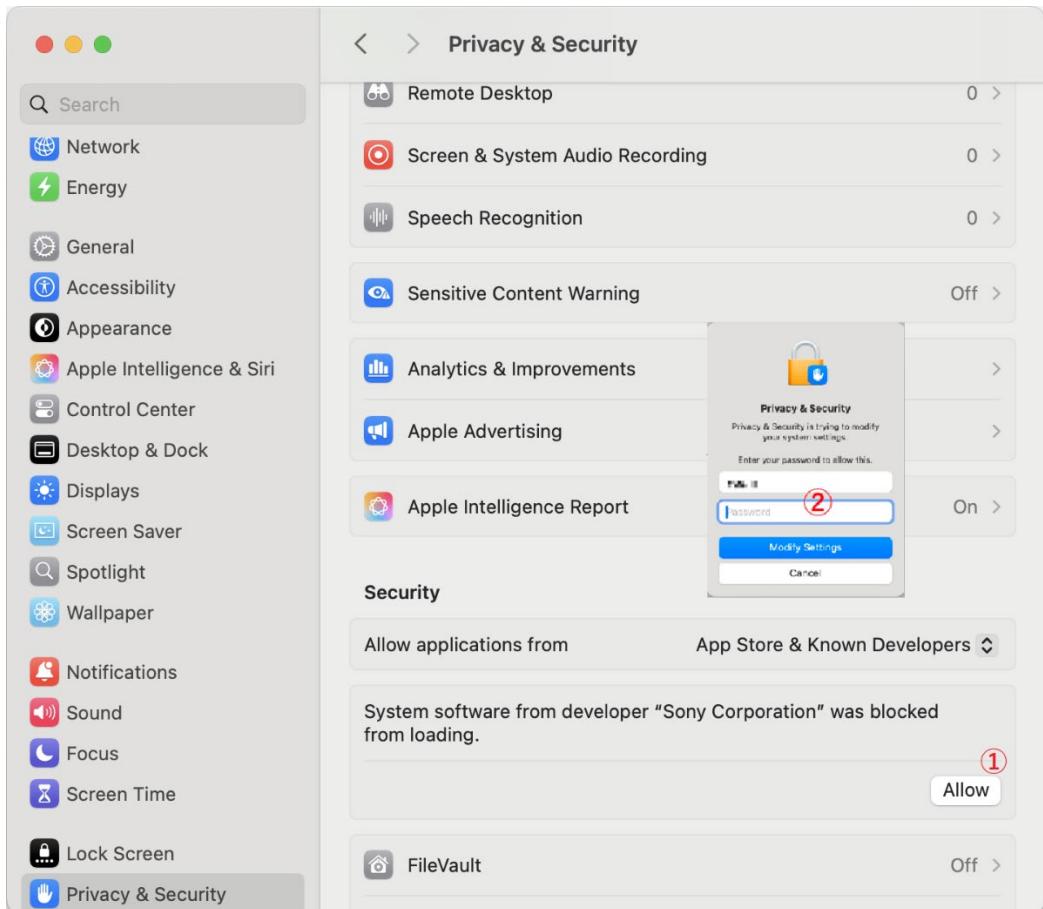
下記のように「システム環境設定」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合、必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加された物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

[System Settings]から[Privacy & Security]を開きます。

1. “ブロックされているシステムソフトウェア”的右側にある、許可ボタンを押してください。
2. 管理者 ID とパスワードを入力してください。

(下図参照)



【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語(EN/JP)の切り替えを自動的に行ないます。

【制限事項】

Mac との USB3.0 接続について

- ・ Mac 標準搭載の USB3.0 ポートに SxS リーダーライターを接続してご使用ください。
- ・ 他社製の USB3.0 カードは SxS リーダーライターを正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、Catalyst Browseなどのアプリケーションで、ファイル転送が確実に行われているか、確認するようにしてください。

【注意事項】

1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ 必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・ OS 起動前にメディアを接続してしまうと、OS 標準のファイルシステムドライバでマウントしてしまうため、アクセスが遅くなります。このため、OS が起動してから、メディアをマウントするようにしてください。

SxS メモリーカードのフォーマットについて

- ・ Finder やアプリケーションなどでメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ 操作中に、万一本体を抜いてしまった場合、メディアが壊れるか、コンピューターが不安定になる可能性があります。もしそうなった場合は、少し待ってから SxS メモリーを再挿入するか、コンピューターを再起動してください。

動して下さい。メディアやリーダーライターが壊れていなければ、正常状態に復帰します。

SxS リーダーライターのファームウェアアップデートについて

- ・ファームウェアのアップデートをする前に後述する、「マシン環境の設定」を確認してください。
- ・PC と SxS リーダーライターの接続が不安定（認識されたりされなかったり、認識が勝手に解除されたり等）の場合は、ファームウェアアップデートに失敗する危険性がありますので、実施せずにサービス窓口へご連絡ください。
- ・ファームウェアアップデート中にケーブルを抜いたり、PC の電源を切ったりすることは、絶対にしないでください。
- ・もし「アップデートに失敗しました」のメッセージが表示された場合は、そのまま USB ケーブルを抜かずに、再度ファームウェアアップデートを実行してください。
- ・SxS リーダーライターに記録メディアが挿入されているとファームウェアアップデートが実行できませんので、記録メディアは取り外した状態で行って下さい。
- ・ファームウェアアップデート後は、PC から SxS リーダーライターを取り外した後、5 秒以上間隔を空けてから再接続して下さい。

2. マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性があるので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。もしくは、一時的に自動スリープを解除した状態でご使用ください。

Mac Laptop 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定>バッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・バッテリーの 低電力モード・・・Never（なし）に設定する、もしくは、チェックを外す
 - ・Option 内の可能な場合はハードディスクをスリープさせる ・・・Never（なし）に設定
(ディスプレイオフ時間のスライド設定がある場合、可能であれば Never（なし）に設定してください)
- Mac Laptop もしくは Mac Desktop (Intel Mac) 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定>省電力もしくはバッテリーを選択し、下記項目で変更します。
- ・Power Nap を有効にする ・・・無効にする

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することを推奨します。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

3. SxS メモリーカード、SONY Portable Storage/Professional RAID の初期化について

OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。ソニー製カムコーダやプレーヤー・レコーダでマウントできない可能性がありますので、必ず、本ソフトウェア でフォーマットして下さい。

4. Memory Media Utility をご使用になる場合、もしくは、UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合

Memory Media Utility を使う場合や UDF フォーマットされた SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合には、SxS UDF Driver V5.1.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

5. SxS リーダーライター” SBAC-T40”、もしくは、ExpressCard スロット で SxS Memory Card を使うには SBAC-T40 や PC の ExpressCard スロットに接続して SxS Memory Card を使用する場合は、SxS Device Driver V5.2.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

6. SxS PROX メモリーカードを使うには

古い SxS リーダーライター用ファームウェアの場合、接続が安定しない場合があります。

その際は、本ソフトウェアに同梱されている、最新のファームウェアに更新することで改善できます。

7. OS が SxS メモリーをマウントする前に、SxS リーダーライター機器からメディアを取り出したり、アプリケーションで操作を行なったりすると、コンピューターが不安定になる場合があります。

8. SBAC-T40 に SxS メモリーカードが再マウントされない不具合の対策 (macOS Ventura、Sonoma、Sequoia)
MacOS DiskUtility.app などの一部のアプリケーションで取り出し操作を行うと「取り出しに失敗しました」
メッセージが表示される場合がありますが、実際には取り出しきてありますので、実害はありません。

9. ボリュームラベルの制限について

OS によっては、ボリュームラベルの 1 文字目に半角スペースを入力することが可能ですが、この場合、Finder や Desktop 上で “Untitled” と表示されることがあります。

10. SxS メモリーカードを FAT32 でフォーマットした場合の制限について

OS によっては、FAT32 でフォーマットすると、MacOS 同梱の DiskUtility.app や Memory Media Utility のボリューム名が “NO NAME” と表示される場合があります。
